

名寄市が目指す ゼロカーボンシティ

名寄市は、豊かな自然と共に、持続可能なまちづくりを進めています。

2050年のゼロカーボンシティ実現に向けて、

市民・事業者・行政が力を合わせて取り組んでいきます。



1 ゼロカーボンシティってなに？

「ゼロカーボンシティ」とは、日常生活や経済活動で排出される温室効果ガスの量をできるだけ減らし、残った分を森林の吸収や再生可能エネルギーの活用などで差し引いて、実質的に“ゼロ”にすることを目指すまちのことです。

CO₂ 排出量

電気やガスの使用、自動車の走行などで発生する CO₂



CO₂ 吸収量

森林などが吸収する CO₂ や再エネ導入等の取組による削減量



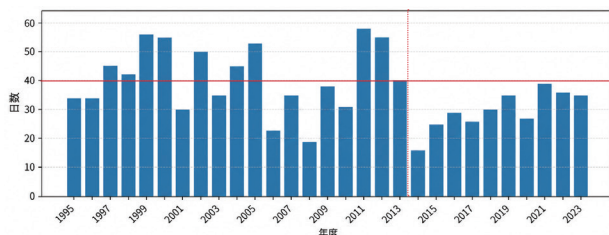
実質ゼロ



2 名寄市の現状（気温など）

過去 30 年間で 12 月から 3 月の間に日最低気温が -15℃ を下回った日数を見ると、以前は、40~50 日以上の年がありましたが、ここ 10 年間では 40 日を下回り、減少しています。名寄の冬を象徴するダイヤモンドダストや・サンピラー現象が観られなくなるかもしれません。

名寄市 -15℃以下になった日数（12月～3月）



※データ：気象庁「名寄観測所」（参考）

3 目指す将来像と削減目標

地域の特性を生かして市民、事業者、行政
でつくる名寄市のゼロカーボンシティ

CO₂ 排出量削減目標

2030 年度：約 60%削減（16万t）

2050 年度：実質ゼロ
を目指します



市民・事業者・行政が一体となって、ゼロカーボンシティの実現に向けて取り組んでいきます。

「ゼロカーボンシティを目指すための施策」

名寄市は、ゼロカーボンシティの実現に向けて、次の6つの基本方針に基づき、施策を推進していきます。

基本方針 1

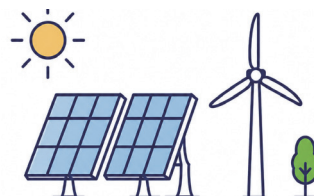
省エネルギーの推進



省エネルギー化を進めるため、身近な行動変容や省エネルギー設備の導入を推進します。

基本方針 2

再生可能エネルギー等の促進



脱炭素化に向けて、住宅や事業所、公共施設における太陽光発電設備などの再生可能エネルギーの導入を推進します。

基本方針 3

循環型社会形成の推進



資源の有効活用により循環型社会を実現するため、ごみの再資源化や発生抑制、適正処理を推進します。

基本方針 4

脱炭素型のまちづくりの推進



コンパクトシティの推進、公共交通への利用転換、物流の効率化、次世代自動車の導入などを促進します。

基本方針 5

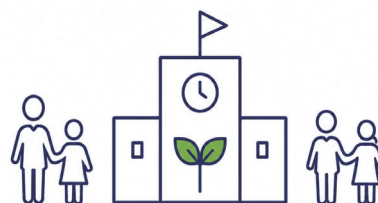
CO₂ 吸収源の確保



豊かな自然環境を維持していくため、森林整備や農業の環境負荷低減を推進し、CO₂ 吸収源を確保します。

基本方針 6

環境教育・連携体制の推進



市民や事業者、関係団体と連携しながら、環境保全活動の展開や啓発・学習機会の充実に努めます。

「なよろエコパートナー」事業の紹介

事業の紹介

ゼロカーボンシティの実現に向けて、事業者や団体の皆さまと連携し、環境にやさしいまちづくりを進める取組を進めています。

エコパートナーとなった皆さまには脱炭素化に向けてそれぞれ取組を実施していただきます。

名寄市は皆さまの取組の支援のほか、積極的に PR を行います。



地域に広げる電化と環境づくり

EV の導入や電化の推進に力を入れています。今年 5 月に新たに 1 台を導入し、お客さまサービス課社有車 4 台のうち 2 台が EV になりました。走行時に排気ガスを出さない EV は、二酸化炭素の排出削減につながる取組のひとつです。地域の皆さんにも、EV や電化の便利さを知ってもらえる機会を増やしていきたいと考えています。

また、小学生を対象にした SDGs の出前授業では、子どもたちと一緒に未来について考えています。授業後には、家庭で節電や節水を意識する声もあり、小さな行動の広がりを感じています。電気を扱う会社として、EV や電化の良さを伝え、地域の皆さんとともに環境にやさしい暮らしを広げていきたいです。



北海道電力ネットワーク株式会社
名寄ネットワークセンター

蝦名 一喜さん

エコパートナー 1

北海道電力ネットワーク（株） 名寄ネットワークセンター

主な取り組み内容

- ・ クールビズ、ウォームビズに合わせた室温設定
- ・ 事務所照明の LED 化
- ・ 照明の間引き
- ・ 待機電力の削減（パソコン や複合機の電源管理を徹底）
- ・ エネルギー使用量の見える化
- ・ 電気自動車（EV）の導入
- ・ 社員の意識改革（環境に関する e ラーニング受講）
- ・ 社員による SDGs 教育の実施（名寄西小学校）

身近な省エネから始める環境への配慮

クールビズや節電、店舗照明の LED 化など、身近にできることからゼロカーボンに向けた取組を進めています。クールビズは最初こそ慣れない部分もありましたが、今では職員にも定着してきました。暑い時期でも服装を工夫し、エアコンの設定温度を下げすぎないようにするなど、無理のない範囲で節電に努めています。また、営業車両の一部にはハイブリッド車を導入しており、今後も状況を見ながら導入を検討していきたいと考えています。店舗では省エネ啓発リーフレットを設置し、職員の意識付けと来店者への周知にも取り組んでいます。ゼロカーボンは、大きなことだけでなく、日々の小さな積み重ねが大切です。お客様に快適に過ごしていただくことも大切にしながら、できることから一歩ずつ取り組んでいきたいです。



北星信用金庫 桑原 琢也さん

エコパートナー 2

北星信用金庫

主な取り組み内容

- ・ クールビズ、通年ノーネクタイ（令和 7 年度からビジネスカジュアル導入）
- ・ 店舗、事務所内の照明の LED 化
- ・ 省エネ診断の実施
- ・ FSC 認証を受けた通帳の使用
- ・ ペーパーレス化推進
- ・ 植樹
- ・ ハイブリッド車の導入
- ・ 各役職員に対する省エネへの意識付け

現場から始める、身近なゼロカーボン

現場でできる身近な取組として、今年は作業着を新しくし、夏の安全性や動きやすさにも配慮しました。暑い中でも動きやすい環境を整えることは、無理のない省エネや作業効率向上にもつながると考えています。

また、節電や機械のアイドリングストップに取り組んでいます。資源の削減にも力を入れており、これまで捨てていた水道管などの端材も、すぐに処分せず、使える現場があれば再利用できるように保管しています。ゴミの分別もこれまでより細かく行い、捨てていたものを資源として出せるように工夫しました。プリンターも使用済みの紙を活用しながら節約をしています。まだ始めたばかりですが、これからも現場からできることを少しずつ広げていきたいです。



有限会社笠井工務店

笠井 勇佑さん

エコパートナー 3

(有) 笠井工務店

主な取り組み内容

- ・アスコン、コンクリート廃材などを再生材として工場へ搬出
- ・各種廃材の分別徹底、専用保管箱設置
- ・仮設材、養生材の再使用
- ・段ボール集積、自治会集団資源回収の利用
- ・アイドリングストップを徹底
- ・現場投光器、仮設照明の LED 化
- ・ペーパーレス化導入
- ・地下水の利用
- ・社員または従業員への環境教育の推進

自分たちでつくった電気を、地域の力に

風連地区にある太陽光発電設備で再生可能エネルギーの発電に取り組んでいます。発電した電気は、電力会社などを通じて供給され、五十嵐組でもその一部を使用しています。自分たちで発電した電気が、また自社や地域の中で使われていく。そうした「電力の地産地消」のような形に少しでも近づけているのではないかと感じています。

ゼロカーボンに向けて、自然の光を利用して電気をつくり、地域で活用していくことは大切な取組だと感じており、発電した電力が地域の中で使われることは、とても喜ばしいことです。

これからも、再生可能エネルギーの活用やクールビズ、省エネ意識の向上など、できることから取り組み、少しでもゼロカーボンシティの実現に貢献していきたいです。



五十嵐ホールディングス株式会社

安達 竜太さん

エコパートナー 4

五十嵐ホールディングス (株) ・(株) 五十嵐組

主な取り組み内容

- ・太陽光発電事業の展開（五十嵐ホールディングス（株）で発電した電力を売却、その電力を名寄市で蓄電事業を展開している事業者へ売電。地域内で循環するエネルギーサイクルを構築、電力の自給自足と地産地消の実現）
- ・事務所照明の LED 化
- ・ウォームビズの実施、暖房温度を 21℃に設定。（12 月～3 月）
- ・エコ運転の実施、休憩時のエンジンストップ

エコパートナーの募集

名寄市とともにゼロカーボンの未来をつくりませんか？

名寄市では、ゼロカーボンシティの実現に向けて、一緒に取り組む事業者・団体をエコパートナーとして随時募集しています。

参加のメリット

1

市がエコパートナーの取組を PR します

2

名寄市のロゴマークステッカーを配布します

3

取組に関する支援、相談対応を行います

現在、6 団体がエコパートナーとして活動中！募集は随時行っています。



詳細はこちらから



チャレンジして
未来の名寄を
つくりよう！

ゼロカーボン チャレンジャー事業



電気を節約して
ヨロカ行政ポイントをゲット！

いつもの暮らしで省エネ！家族みんなで楽しくチャレンジしましょう！

できることから始めよう！

名寄市は「ゼロカーボンシティ宣言」を表明し、市民の皆さまとともに脱炭素社会の実現を目指しています。本事業では前年（令和7年）と当年（令和8年）の9月～11月の電気使用量を比較して、削減できた場合に、削減率に応じて各月ごとにヨロカ行政ポイントを付与します。各家庭で楽しく取り組める事業ですので、ぜひご参加ください。

事業概要

定員	150人 ※申込多数の場合は抽選により決定
対象者	名寄市にお住まいの方 ※同一世帯で複数申請はできません
申込期間	令和8年 8/1（土）▶ 8/25（火）
実施期間	令和8年 10月～12月請求分 （9月～11月使用分）

参加申込はこちら



紙申請の場合

名寄市ホームページに掲載されている参加登録申込書に必要事項を記入の上、ご持参またはメール、郵送などでご提出ください。

ポイント付与

3カ月で

最大3,300ポイントのチャンス！

参加ポイント（最大300P）

毎月報告するだけで 100P



削減率（前年同月比）	ポイント（1カ月あたり）
10%以上	1,000P
5%以上10%未満	500P
2%以上5%未満	100P
2%未満	0P

実施の流れ

1 家庭で節電



家庭でできる節電に取り組めます。

2 電気料金の請求明細を確認



前年同月と比較して、電気使用量を確認します。

3 使用量の実績を報告



専用フォームで前年同月・当月の使用量を入力し、実績を報告します。

4 削減量を集計



市役所で削減率を集計し、ポイントを決定します。

5 ポイント付与



削減率に応じて、翌月申請頃にヨロカ行政ポイントを付与します。

8月1日は『夏の省エネ総点検の日』

～「自分にできること」からはじめる、この夏の省エネ～

夏は冷房の使用等によりエネルギー消費量が増える時期です。地球温暖化対策には、一人ひとりが環境問題を自分事として捉え、率先して行動することが大切です。無理のない範囲で、身近な省エネに取り組んでみましょう。

取組期間：8/1(土)▶8/31(月)

家庭や事業所でできる「お得な省エネ」

できたことにチェックして、
行動を見える化しよう！



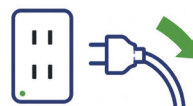
1 照明をこまめに消そう

使っていない部屋や時間帯の照明は消しましょう。
LED 照明への切り替えも効果的！



2 使わない家電のプラグは抜こう

待機電力をカットして、電気代を節約。
長期間使わない機器はプラグを抜きましょう。



3 移動は徒歩・公共交通・自転車で

近場の移動は徒歩や自転車を、遠出は公共交通を。
CO2 の削減と健康づくりにもつながります。



4 エコドライブを心がけよう

ふんわりアクセル、ゆとりある車間距離で、燃費アップ！
交通事故の防止にもつながります。



5 エアコンの温度設定を見直そう

冷房は 28℃ を目安に、扇風機の併用や遮熱カーテンも効果的です。



6 テレビやゲームの使い方を見直そう

見ないときは消す、使わないときは電源オフ。
楽しみながら、ムダな電力を減らしましょう。



7 水の使いすぎに気をつけよう

シャワーの時間を短くし、こまめに止めることで、
水もエネルギーも節約できます。



特別企画

省エネに取り組んで
ヨロカ行政ポイント
200P をGET!

自ら率先して省エネに取り組まれた方の中から、
抽選で 100 人の方に「ヨロカポイント 200 P」
を付与します。

※なお抽選への参加はお一人様 1 回までです。



抽選で
100人

..... \ 1 日限定! /

8/21 金

応募受付は当日限りです!

対象

名寄市内在住の方

申込方法

右の二次元コードまたは、
市のホームページの応募
フォームからお申込ください

応募はこちら

